

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|---------------------------|--------|---|
| 官民地域連携エリアマネジメント組織の運営・事業推進 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成23年度～

- 支援事業名
- ・H23 都市環境改善支援事業(国土交通省)
 - ・H24 民間まちづくり活動促進事業(国土交通省)
 - ・H24～27 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省)
 - ・H28～地方創生推進交付金(内閣府)

計画に記載している内容 「岡崎地域活性化ビジョン」の推進のための官民地域連携のエリアマネジメント協議会による魅力創出事業、情報発信等。
【頁7～47】

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

エリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、多くの市民・関係者の連携の下で岡崎地域の資源を活かした魅力創出事業や総合的な案内・情報発信に取り組んでいる。

(魅力創出事業)

- ・「桜」と「琵琶湖疏水」の2大資源を活用した「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」の開催。(来場者数 約1万6千人)
- ・岡崎エリアの新しい夜の魅力創出を目的とした「岡崎ときあかり」を京都市京セラ美術館の竣工式と同日に開催。(来場者数 約2万人)

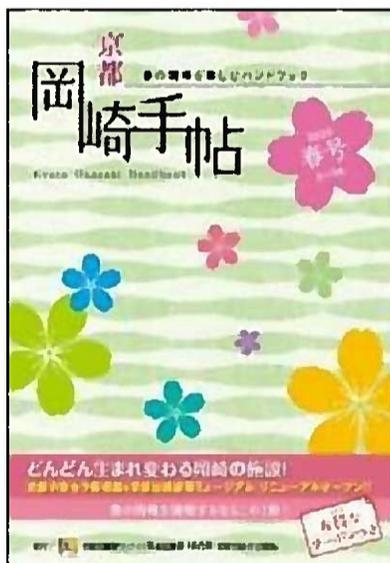
(総合的な案内・情報発信)

- ・岡崎の総合情報パンフレット「岡崎手帖」(秋号・春号)の発行(部数 いずれも7万部)
- ・岡崎の総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用(アクセス数 1,647,032件)
- ・回遊促進型イラストマップ「岡崎どこいこトコトコ 街図」の改訂・増刷発行(日本語版:18,700部 英語版:5,000部)
- ・市電(岡崎公園)を活用した総合案内(無人)の実施

【歴史的風致・基本方針との関係】京都の近代化を牽引した岡崎は、<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致を形成しており、その地域の活性化の取組を行うことにより、地域力を活用しながら、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

| 進捗状況 * 計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 岡崎地域活性化の動きを持続可能なものとするのが、今後の課題であり、協議会事業の全てを今後も継続的に実施するのではなく、これまでの取組を通じて培ってきた、施設等間連携の気運を確実・強固にしていくとともに、更なる民間活力の導入等も進めながら、持続可能な形で、地域が一体となった広がりのある取組を進める。 |

状況を示す写真や資料等



・岡崎手帖 春号



・岡崎ときあかり

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|-----------------------------------|--------|---|
| 京都岡崎地区都市再生整備計画事業 (京都市美術館再整備事業) | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成28年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 80年を超える歴史を持つ京都市美術館について、建物の風格を失うことなく再整備を行う。【頁7-49】

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

下記に基づき、平成28年3月、「京都市美術館再整備工事 基本設計」をとりまとめた。

- ・ 本館に加え、新館を建設し、京都の新たなシンボルとなる美術館を目指す。
- ・ 豊富なコレクションに加え、現代芸術の「今」を発信する日本を代表する複合型美術館としての魅力を高める。
- ・ 岡崎地域のポテンシャルを活かしつつ、ギャラリー・アメニティ機能の向上により、日本有数の集客力がある美術館を目指す。

平成29年1月、京都市美術館再整備工事落札者決定
 平成29年3月、京都市美術館再整備工事請負契約締結
 京都市美術館再整備工事実施設計着手
 平成29年12月、京都市美術館再整備工事実施設計とりまとめ
 平成30年1月、京都市美術館再整備工事本工事着工
 令和元年10月、京都市京セラ美術館竣工

【歴史的風致・基本方針との関係】京都の近代化を牽引した岡崎は、<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致を形成しており、その地域の活性化の取組を行うことにより、地域力を活用しながら、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

| 進捗状況 * 計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



京都市美術館再整備事業の南東鳥瞰図



京都市美術館再整備後の北西鳥瞰図

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|--------|--------|---|
| 京都・花灯路 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成14年度～

支援事業名 京都・花灯路事業
 (京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、京都市観光協会、京都文化交流コンベンションビューローで構成される京都・花灯路推進協議会で実施)

計画に記載している内容 京都を代表する歴史的文化遺産や町並み等を日本情緒豊かな露地行灯やいけばな作品で繋ぎ、初冬及び早春の季節感を魅力的に表現する。【頁7-52】

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

京都・嵐山花灯路-2019(令和元年12月13日(金)～12月22日(日))

【主な事業】

- 1 ロームが灯す「灯りと花の路」
日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」とボリューム感のあるいけばな作品の「花」で思わず歩きたくなる路を演出。
- 2 渡月橋周辺のライトアップ
渡月橋と山裾、水辺など周辺をライトアップし、雄大で美しい夜の自然景観を演出。
- 3 竹林の小径のライトアップ
野宮神社から大河内山荘庭園に至る散策路両側の竹林をライトアップし、頭上に広がる幻想的な情景を演出。
- 4 京都いけばな協会「いけばなプロムナード」
京都いけばな協会の協力により、「灯りと花の路」沿いに大型花器によるボリューム感のあるいけばな作品を展示。

【来場者数】1,003,000人

京都・東山花灯路-2020(令和2年3月6日(金)～3月15日(日))⇒コロナの影響により中止

通年型観光及び宿泊型観光を推進するため当該事業を実施し、一定の来場者を集める効果があった。

【歴史的風致・基本方針との関係】寺社が多く存在し、<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域で行われる当取組により、歴史的風致を再認識する機会となり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

| 進捗状況 * 計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 【課題】企画内容が毎年同じようなコンテンツとなっており、事業がマンネリ化している。 【対応方針】民間事業者との連携による新たな企画の実施し、更なる魅力アップを図る。 |

状況を示す写真や資料等



竹林の小径のライトアップ

中止

京都・嵐山花灯路-2019
 (令和元年12月13日(金)～12月22日)

京都・東山花灯路-2020

評価軸③-33 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|--------------------|--------|---|
| 京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業業界において中核を担いつつある中堅技術者の意欲向上に資する京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度を実施。【頁7～53】

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で

- 4月8日～6月14日 公募
- 8月30日～9月20日 工房調査を実施(申請者13名)
- 10月4日 過去の認定者による交流会開催
- 10月30日 申請者によるプレゼン審査(京都市伝統産業活性化推進審議会審査選考部会)
- 12月23日 認定式(技術功労者表彰式と合同で開催/市長出席/京都ホテルオークラ)
9業種10名を認定。
(京房紐, 京人形, 京印章, 京焼・清水焼, 京表具, 京料理, 京漬物, 京菓子, 清酒)
- 3月2日～3月31日 京都にて「未来の名匠」技の披露展
京都駅ビル(3月2日～31日)

【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を支える技術者を育成・表彰し、技術や関係業界の振興・発展・継承に努めることは、歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。

| 進捗状況 ※ 計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等



工房調査



プレゼン審査



認定式



技の披露展(京都駅ビル)

評価軸④-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和元年度 |
|---|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 京もの国内市場開拓事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成24年～ | | |
| 支援事業名 | 市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 京都のまちの魅力や伝統文化を紹介するとともに、和装・工芸が一体となった京都の伝統産業PR展示会を行い、新たな需要を開拓する。【頁7-54】 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で | | | |
| <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「京都知恵産業フェア2020」は中止。</p> <p>(参考)「京都知恵産業フェア2020」</p> <p>1 日程等 日 時: 令和2年3月11日(水)～12日(木) 2日間 会 場: 京都市勤業館みやこめっせ(京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)</p> <p>2 内 容: バイヤー向けの展示商談会</p> | | | |
| 【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を、広くPRする取組により、これらの歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。 | | | |
| 進捗状況 ※ 計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) | | | |

| | | |
|----------------|---|-------|
| | 評価対象年度 | 令和元年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 伝統芸能文化創生プロジェクト | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成30年～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「五感で感じる和の文化事業」の成果を引き継ぎ、伝統芸能文化に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能文化を取り巻く課題の改善や継承へ向けた提案に取り組む。【頁7～57】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<令和元年度の実施内容と実績>

- ① 伝統芸能文化に係る総合相談窓口の設置 ⇒ 相談件数:190件(令和2年2月17日まで)
- ② ネットワーク構築・リサーチ ⇒ 新規23件構築(令和2年2月7日まで)
- ③ 伝統芸能文化復元・活性化 共同プログラム ⇒ 応募:11件,うち採択:3件
- ④ 伝統芸能文化創生ネットワーク会議の開催 ⇒ 令和2年2月8日開催
- ⑤ シンポジウム&公演「鬼と芸能」の開催 ⇒ 令和2年2月8日開催
- ⑥ 各種講座・受託事業の実施 ⇒ イベント4件の開催,文化庁「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」受託実施

【歴史的風致・基本方針との関係】市民が生活の中で伝統文化・伝統芸能を身近に感じ、体験することができる機会を創出し、今まで伝統文化・伝統芸能に親しんでいなかった層がこれらの伝統芸術に関わるきっかけとなり、伝統文化・伝統芸能の維持・発展につながり、文化芸術を活かしたまちづくりが推進される。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

伝統芸能文化復元・活性化 共同プログラム

令和元年度募集

- ◆応募総数:11件
- ◆採択案件数:3件

| 件名 | 申請者等名 | 内容 |
|---------------------|---|--|
| 新素材による狂言の試作と生産業者の探索 | 紙雛祭親子方連絡会(京都市) 代表:水村幾太郎 | 紙雛祭のお雛子に用いる狂言の柄は飾の籠から作られてきた。近年では飾の籠が入り困難であるため樹脂製のものも多いが、耐久性等に課題がある。今回は、既存の樹脂製製品よりも、しぶりの良い新素材による狂言の柄を開発する。 |
| 新内節の発信と保存プロジェクト | 新内節の発信と保存プロジェクト(京都市) 代表:新内志賀 | 現在、新内節は、東京を拠点に10以上の流派が存在している。まず、1曲曲を含めた楽曲の採録とデジタルアーカイブ化をすることで伝承と保存を図る。また、新内節の復興に向けて、関係者のネットワークを構築する。これらによって、京都の浄土堂から誕生した新内節の活性化を目指す。 |
| 十津川盆踊りの伝承・活用発信 | 十津川盆踊り実行委員会(奈良県十津川村) 実行委員長:佐古金一 事務局:土井麻利江 | 国の文化財指定有無に関わらず、各大学で異なる特色を持つ十津川盆踊りの現状調査、演目の復元、ネットワークの構築に取り組む。それら成果を伝承・保存方法を提案する。伝統芸能を地域振興にも活かす方法を模索し、プロジェクトの過程と成果を情報発信する。 |

受託事業「伝統芸能用具・原材料に関する調査事業」

期間:2020年2月25日～2020年3月31日

事業内容:

- 1) 調査委員会の運営
- 2) 実演家、関係者へのヒアリング
- 3) 調査方法の提案及びアンケート調査様式の作成
- 4) 報告書の作成

シンポジウム&公演「鬼と芸能」



日程:令和2年2月8日(土)13時～17時

場所:京都芸術センター

<第一部:シンポジウム>

基調講演:小松和彦(国際日本文化研究センター所長)

パネリスト:横山太郎(立教大学教授)

川崎瑞穂(神戸大学・日本学術振興会特別研究員)

三宅流(映画監督)

<第二部:公演>

演目:鬼剣舞(岩手県・北藤根鬼剣舞保存会)

母ヶ浦の面浮立(佐賀県・母ヶ浦面浮立保存会)

狂言「節分」(鬼:茂山千五郎,女:島田洋海)

評価軸③-36

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|--------------------------------|--------|---|
| 世界歴史都市連盟を通じた国際社会における京都の魅力発信の拡大 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成6年～

支援事業名 任意団体(世界歴史都市連盟)の事業

計画に記載している内容 歴史都市という共通の絆で結ばれた都市が、将来にわたって日常的な交流を促進する。【頁7-61】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ロシアのカザン市で世界歴史都市連盟理事会を開催(2019年6月)。第17回世界歴史都市会議開催に向けた調整、歴史都市の取組等を掲載した連盟機関紙の発行、連盟公式ウェブサイトによる情報発信等を実施。

- ・第16回世界歴史都市会議(トルコ共和国・ブルサ市開催。2018年9月開催) 参加都市 38都市(21か国)
- ・2020年3月現在の加盟都市数 119都市(66か国)

【歴史的風致・基本方針との関係】国内外を問わず各歴史都市との交流や情報交換、京都市の歴史遺産の保存の取組の発信を行うことにより、文化の発信・発展につながる結果、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

進捗状況 ※計画年次との対応

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 歴史都市連盟への新規加盟の呼びかけ。加盟都市に対しては、連盟事業(歴史都市会議への参加、機関紙への取組掲載等)への更なる参加を促す。 |

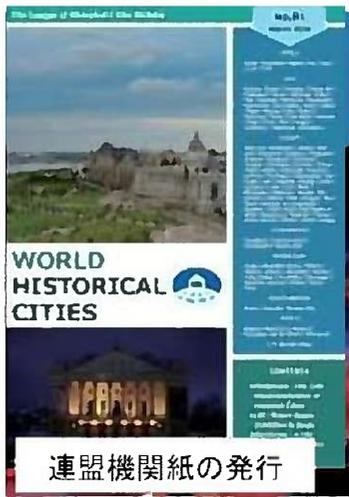
状況を示す写真や資料等



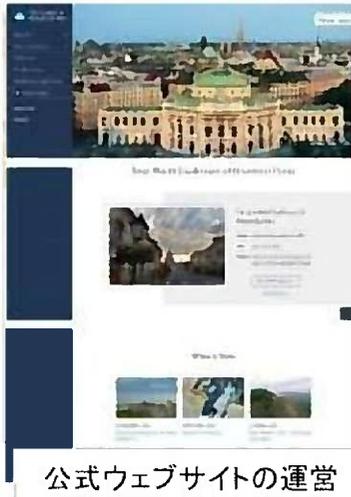
2019年世界歴史都市会議理事会(ロシア・カザン)の様



公式ウェブサイトの運営



連盟機関紙の発行



評価軸①-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 |
|----|--------|-------|
|----|--------|-------|

| | | |
|-------------------|--|---|
| 文化財の調査及び指定・登録について | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
|-------------------|--|---|

計画に記載している内容
 未指定文化財の調査・把握を進め、その成果等から、京都市の歴史・文化等を理解するうえで重要なものを、市文化財として指定・登録するほか、国指定・登録・選定への意見具申等を行うことで保存活用に努める。
 (以下削除)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和元年度は文化財の新指定6件、登録2件。
 ・平成27年度より市域全体の文化的景観を網羅的に調査し、令和元年度にその調査報告書『京都の文化的景観調査報告書』を刊行した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和元年度京都市指定文化財(建造物)



徳林庵 山科地藏堂



長江家住宅(附) 棟札等

評価軸②-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|-------------------------|--------|---|
| 文化財の修理, 防災防犯対策, 周辺環境の整備 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容

- ・本市所有又は管理の指定・登録文化財は府の協力を得ながら、本市の文化財保護技師が行う。
- ・京都市指定・登録文化財は修理等の指導・助言を行うとともに、修理等の費用の一部に補助を行う。
- ・伝統的建造物群保存地区内の建造物及び環境物件について、修理・修景等の費用の一部に補助を行う。
- ・京都市域内の国宝・重要文化財への防災設備の設置は、国庫補助事業として国や府と連携しながら進める。また、市指定文化財については、防災設備設置への助成制度により防災事業を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・京都市指定登録文化財(建造物)の修理事業として、六孫王神社 など、令和元年度中に26件(一般の修理・未来)の修理事業を実施。【再掲】
- ・伝統的建造物群保存地区内における修理・修景助成: 14件【再掲】
- ・夏の文化財防火運動(7月12日から18日まで)及び文化財防火運動(1月23日から29日まで)期間中に、文化財関係社寺等において85件の訓練を行うとともに、文化財市民レスキュー体制の育成指導を201回行った。
- ・社寺等での災害発生時に初期消火や応急手当等を迅速に行う「文化財防災マイスター」を106人養成した。
- ・仁和寺において、市民を対象に文化財に対する防火防災意識の普及啓発を図る「文化財防火市民講座」を開催、86名の参加があった。
- ・清水寺において、小中学生の生徒たちを対象に、文化財が災害からどのように守られているかなどを学ぶ「文化財防火サマースクール」を開催、211名の参加があった。
- ・周辺環境の整備については、歴史的風致形成建造物新規指定8件、景観重要建造物新規指定3件を行った。【再掲】
- ・ノートルダム寺院の火災原因が修理工事である可能性が指摘されたことを受け、修理工事中及び修理着工予定である京都市指定登録文化財の所有者に対して、防災体制を再確認するよう、文書にて注意喚起した。また、防災設備の設置・更新に対して補助金を交付している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

文化財を保全するためには、それ自身の保存のみでなく、周辺環境の保全・整備が不可欠であるため、景観保全施策・まちづくりに関する施策・文化財保護施策・防災施策等、様々な施策を協同して進められるよう、関連部署の連携を図っていくことが必要。

状況を示す写真や資料等

文化財の修理等(市指定文化財の修理)



市指定文化財・六孫王神社 修理前



市指定文化財・六孫王神社 修理後

伝統的建造物群保存地区における修理・修景



修景前(塀等修景工事)



修景後(塀等修景工事)

周辺環境の整備

・平成30年度新規指定件数 歴史的風致形成建造物:11件、景観重要建造物:8件



奥田邸(景観重要建造物)



元立誠小学校(歴史的風致形成建造物)

防災事業



防火訓練(醍醐寺)



文化財防火サマースクール(清水寺)

評価軸③-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和元年度 現在の状況 |
|---------------------|--------|---|
| 文化財の保存及び活用の普及啓発について | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 市民参加によって文化財の保存・活用が図られる仕組みづくりを進める。国内外の人々が伝統的な文化芸術を体験することができる機会を拡大する。【頁6-8】

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

文化財マネージャー育成講座を実施し、令和元年度に28名の文化財マネージャーを登録。また、文化財マネージャーの全員を対象としたスキルアップ研修を実施した。

| 進捗状況 * 計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 文化財マネージャーのスキルアップを図る必要がある。スキルアップの研修や登録後の活動において連携を図ることにより、スキルの向上を目指す。 |

状況を示す写真や資料等

● 文化財マネージャー講座

- ・文化財マネージャー育成講座の開催: 全14回
- 平成31年1月～令和元年7月 育成講座受講生: 36名
- 令和2年1月～7月(予定) 育成講座受講生: 36名



- ・文化財マネージャースキルアップ研修の開催
- 開催日: 令和元年6月, 9月, 令和2年2月(計4回)
- 参加者: 延べ55名



文化財マネージャースキルアップ研修

| 評価軸⑥-1 その他(効果等) | | 評価対象年度 | 令和元年度 |
|---|--|--|-------|
| 項目 | | | |
| 歴史的風土特別保存地区内の土地買入事業 歴史的風土特別保存地区内の施設整備事業 歴史的風土特別保存地区内買入地の維持管理 | | | |
| 計画に記載している内容 | ・「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法」第11条に基づき、歴史的風土特別保存地区内の現状変更不許可となった土地の所有者から買入れ申出を受けた場合、歴史的風土の保存上必要があるものに対して買入を実施。 ・歴史的風土特別保存地区内において歴史的風土の保存に関連して必要とされる施設の整備。 ・古都法第12条に基づき、買入地の歴史的風土を維持保存するため、適正に管理する。【頁7-43】 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付 | | | |
| 【土地買入事業】 約0.26haの買入れを実施。(歴史的風土特別保存地区指定面積は約2,861ha、昭和42年度からの買入地の総計は令和元年度末で約286.6ha(指定面積の約10.0%)) 【施設整備事業】 小倉山地区内において森林整備を実施(約1.5ha) 北嵯峨・金閣寺地区内において管理道整備を実施(約1km) 【維持管理事業】 ・買入地において樹木の剪定、除草、立入防止柵の修繕、清掃等を実施。 ・病害虫による被害木の伐倒駆除等(令和元年度末実績:松くい虫被害木駆除9本、カシノナガキクイムシ治療・脱出防止・未然防止対策・伐倒駆除64本)を実施。 ・使用許可や無償管理協定等の契約により植生等管理や施設管理を行っている。 | | | |
| 進捗状況 * 計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| ■ 計画の進捗に影響あり □ 計画の進捗に影響なし | 「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づく森林整備を推進していくために、小倉山及び上賀茂本山における森林再生等の取組等とおして活動に関わる組織づくりや活動を支える人材育成のあり方などを検証・構築し、森林景観づくりの輪を三山全体に広げ、全市的な森林景観づくりの機運を高めていく。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
|  | |  | |
| 金閣寺地区における管理道整備(施設整備事業) | | 清水地区における樹木剪定(買入地維持管理) | |

評価軸②-2
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

魅力ある夜間景観づくり

計画に記載している内容 都市での暮らしや営みを生き活きとしたものとし、新たな価値を創造する都市としていくことを目標とし、日中だけでなく夜においても魅力的な京都ならではの景観づくりに取り組んでいる。【頁7-45】

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和元年度には、平成30年度の調査を踏まえてそれぞれ地域特性の異なる5箇所を選定し、更なる魅力向上や夜間景観づくりの課題等を検討するため、仮設の照明装置の設置等による社会実験を実施した。(三条大橋、岡崎地域、西陣地域、円山公園、木屋町通)

進捗状況 * 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

| | | |
|---|--|---|
| <p>三条大橋</p>  <p>通常</p> | <p>岡崎地域</p>  <p>鳥居のみ</p> | <p>円山公園</p>  <p>通常</p> |
|  <p>実験</p> |  <p>鳥居、慶流橋、植栽</p> |  <p>実験</p> |
| <p>西陣地域</p>  <p>通常</p> | <p>木屋町通</p>  <p>通常</p> | |
|  <p>実験</p> |  <p>実験</p> | |

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

| | |
|---|----------------|
| 評価対象年度 | 進行管理・評価: 令和2年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称: 令和2年度第1回京都市歴史まちづくり推進会議 | |
| 会議等の開催日時: 令和2年6月15日(月)10:00~12:00 | |
| (コメントの概要) | |
| | |
| (今後の対応方針) | |
| | |